

課題 ユーザ定義関数⑤(可変長引数)

フォルダ名 : Q16

ファイル名 : index.php, function.php

ファイル構成

```
└─ Q16
   └─ index.php (メインプログラム)
      └─ function.php (sortData 関数を記述する)
```

整列順と、整列対象データをユーザ関数 sortData に渡し、整列を行う。戻り値として返された整列済み配列の内容を表示する。

ユーザ関数は別ファイル(function.php)に記述し、index.php に読み込んで使用すること。

実行結果

```
昇順に整列
Array ( [0] => 10 [1] => 30 [2] => 50 [3] => 70 [4] => 90 )
降順に整列
Array ( [0] => 80 [1] => 60 [2] => 40 [3] => 20 )
parameter error!!! = X
Array ( [0] => 200 [1] => 400 [2] => 100 )
```

各ファイル内の処理内容

index.php

```
function.php ファイル読み込み

sortData 関数呼び出し
戻り値を表示
sortData 関数呼び出し
戻り値を表示
sortData 関数呼び出し
戻り値を表示
```

function.php

```
sortData( ... ){
    :
    配列内の整列
    整列済み配列を戻り値として返す
    :
}
```

処理手順

<index.php の処理>

1. 整列順:「A」、値「10, 70, 30, 90, 50」を引数に指定し、sortData() を呼出す。
2. 戻り値の配列内容を表示する。(print_r を使用する)
3. 整列順:「D」、値「20, 60, 40, 80」を引数に指定し、sortData() を呼出す。
4. 戻り値の配列内容を表示する。(print_r を使用する)
5. 整列順:「X」、値「200, 400, 100」を引数に指定し、sortData() を呼出す。
6. 戻り値の配列内容を表示する。(print_r を使用する)

<ユーザ定義関数の仕様>

| データ表示 | |
|-------|---|
| 関数名 | sortData |
| 引数 | 整列順(文字列型) |
| | 整数データ(可変長配列 整数型) |
| 戻り値 | 整列済み配列(整数型) |
| 変数 | ? |
| 処理内容 | <p>① 引数で受け取った整列順を判定する。</p> <p>② 並び替えを行う</p> <p> 整列順が「A」の場合 →値の昇順に並べる</p> <p> 整列順が「D」の場合 →値の降順に並べる</p> <p> 整列順が「A」、「D」以外の場合 →エラーメッセージを表示する 「parameter error!!! = 整列順引数の値」</p> <p>③ 整列済みの配列を戻り値として返す (②でエラーの場合は、未整列の配列をそのまま返す)</p> |